

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年4月15日（木）

2 確認箇所

瓦礫等一時保管エリアW2

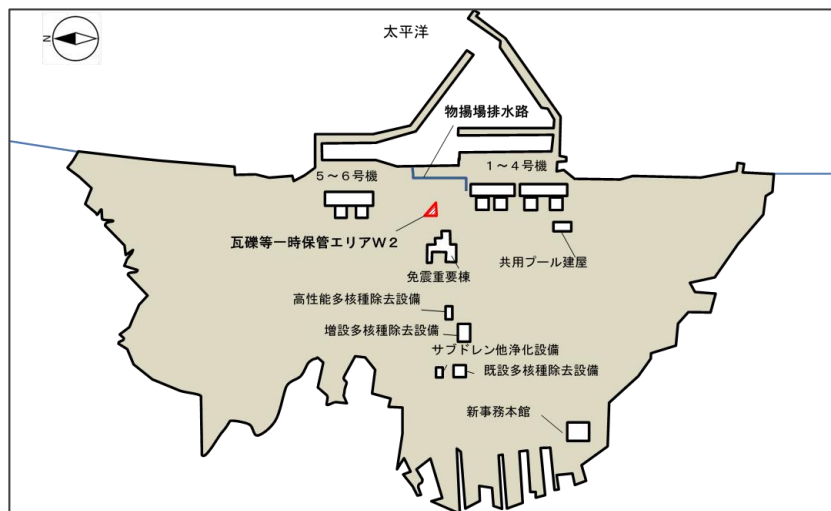
3 確認項目

瓦礫等一時保管エリアW2でのアスファルト剥ぎ取り作業の状況

4 確認結果の概要

3月2日、物揚場排水路に設置されている簡易放射線検知器において「高警報」が発生し、全ベータ放射能が高い（全ベータ放射能：890Bq/L）排水が観測された事象について、東京電力が当該排水路の流域を調査したところ、3月22日に瓦礫等一時保管エリアW2（以下「W2エリア」とする。）で放射線量率が高いゲル状物質が確認された。3月24日にゲル状物質の回収等が実施され、本日から当該エリアのアスファルトの剥ぎ取り作業が開始される予定であったことから状況を確認した。（前回確認：[令和3年4月13日](#)）（図1）

- ・現場確認時、エリア北側で重機を用いたアスファルトの剥ぎ取り作業が実施されていた。（写真1）
- ・剥ぎ取られたアスファルトについては、重機を用いてコンテナに収納されていた。（写真2）
- ・アスファルトの剥ぎ取り作業にあたっては、ダストサンプラを用いて、定期的に空気中の放射性物質濃度を確認しながら実施されており、作業員によると作業開始前後で有意な変化はないとのことであった。（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
アスファルト剥ぎ取り作業の状況



(写真2)
コンテナに収納された剥ぎ取られた
アスファルト



(写真3)
現場に設置されていたダスト
サンプラ

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。